

IV 平成 20 年度の決算見込みを家庭の家計簿に例えると。

いしかわ家の家計簿

支 出		収 入	
○ 生活費 (県の職員、学校の先生、警察官などの給料)	157 万円	○ 給料 (県税、地方交付税、国からの補助金など)	373 万円
○ 家の増改築費 (道路、公園整備などのハード事業に要する経費)	112 万円	○ その他収入 (使用料及び手数料など)	63 万円
○ 教育費・医療費・介護費など (教育、福祉などのソフト事業に要する経費)	159 万円	○ 預貯金の引出 (基金の取り崩しなど)	11 万円
○ ローン返済 (県債の返済 うち60万円が地方交付税などにより補てんされました。)	95 万円	○ ローン借入 (県債の発行 うち46万円が地方交付税などにより補てんされます。)	80 万円
合計	523 万円	合計	527 万円
翌年度の支出	3 万円		
再計	526 万円		

○ 前ページの平成 20 年度一般会計決算見込みを、わかりやすく、より身近なものとしていただくために、10 万分の 1 の金額 (例えば 5,000 億円→500 万円) にして家庭の家計簿に例えて作成してみました。

○ この結果、平成 20 年度のいしかわ家は収入 527 万円に対して、支出額が 523 万円になる見込みです。収入から支出を引くと 4 万円の黒字となりますが、そのうち、翌年度の支出にまわす金額を除くと、実際は 1 万円の黒字になる見込みです。

なお、預貯金の引出 11 万円を含めた上での 1 万円の黒字であることに留意する必要があります。

これからも健全な家計維持に努め、家族の夢の実現に向け取り組んでいきます。

県税等の取扱窓口の拡大について

財政健全化を維持するためには、歳出の削減もさることながら、歳入の確保にも努めなければならないことは、言うまでもありません。

その一環として、県の公金（県税や県営住宅の家賃、県立高等学校の授業料など）を納入していただく際の利便性向上のため、取扱窓口の拡大をはかることとしました。

1 ゆうちょ銀行の収納代理金融機関への指定（平成 21 年 4 月から）

平成 21 年 4 月 1 日から、県内のゆうちょ銀行及び郵便局で県の公金の納入が可能となりました。

これにより、取扱金融機関は 430 店舗から 753 店舗へと、飛躍的に拡大しました。

現在、県の公金の納入を行うことができる金融機関の店舗窓口は次ページのとおりです。（いずれも手数料は無料です。）

2 自動車税のコンビニ納税について（平成 22 年度分から）

県税の中でも特に対象者が多い自動車税については、平成 22 年度定期課税分から、コンビニエンスストアでも納税できるようになります。

これにより、金融機関の営業時間外である夜間や休日を含め、24 時間いつでも、また県外からでも納税が可能となります。

※ その他、県の公金の納入には、口座振替等の方法もありますので、ご都合のよい方法をお選びいただき、県財政の歳入確保にご協力くださいますようお願い申し上げます。

〈〈お知らせ〉〉 平成 21 年 4 月 1 日から ゆうちょ銀行でも公金収納ができます。

下記金融機関の店舗窓口において、県の公金(税金等)の納入を行うことができます。

なお、下記以外の金融機関でも納入できることがありますので、納入しようとする金融機関に直接お問い合わせください。

区分		名称	
指定金融機関		北國銀行	本店・支店
指定代理金融機関		石川県信用農業協同組合連合会	本所
		石川県信用漁業協同組合連合会	本店・支店
収納代理金融機関	銀行	北陸、富山第一、福井、福邦、みずほ、三井住友、新生、三菱東京 UFJ	県内にある支店
	信託銀行	住友、中央三井	
	信用金庫	金沢	本・支店
		興能、のと共栄、北陸、鶴来、石動	県内にある本・支店
	信用組合	金沢中央、中央商銀、イオ	
	農業協同組合	各農業協同組合	
	その他	商工組合中央金庫	国内にある本・支店
北陸労働金庫		県内にある本・支店	
ゆうちょ銀行		県内にある支店・郵便局	

県営住宅家賃、高校授業料等については、上記金融機関(ゆうちょ銀行を除く)における口座振替の取扱いが可能です。各担当課へお問い合わせください。